

平成26年7月15日(火)
平成26年度 第3回
大阪府河川整備審議会

参考資料1

淀川水系淀川左岸ブロック河川整備計画 (変更原案)についての住民説明会

平成26年5月30日(金) 19時～21時
北河内府民センター大会議室

本説明資料は、大阪府河川室ホームページでも見ることができます。
(アドレス http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)

枚方市出屋敷(出屋敷橋上流)を流れる穂谷川

1. 河川整備計画とは

【河川整備計画とは】

- 河川整備基本方針に基づき、概ね20～30年間で計画的に行う河川の整備や管理に関する具体的な目標や内容を定めたもの。

【河川整備基本方針とは】

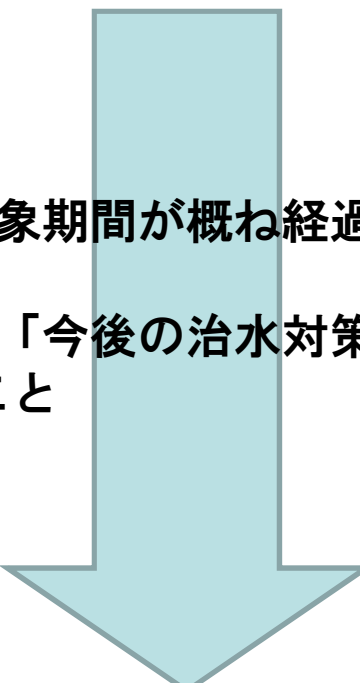
- 河川整備基本方針とは、将来の川のあるべき姿や河川整備の長期的な基本となる方針（治水・利水・環境）を定めたもの。

※河川法により、河川管理者は河川整備基本方針・河川整備計画を定めることとされている。
淀川左岸ブロックでは、H15年4月に河川整備計画を策定。

2. 淀川左岸ブロック河川整備計画の変更にあたって

■ 淀川左岸ブロック河川整備計画の策定 (H15. 4月)

- ・ 淀川左岸ブロックの河川整備の当面の目標を定めたもの。
- ・ 計画対象期間：概ね10年

- 
- ・ 現計画の策定から、計画対象期間が概ね経過しようとしていること
 - ・ H22年に大阪府が策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、治水目標、治水計画の見直しを行ったこと

など

■ 淀川左岸ブロック河川整備計画（変更）の策定を行う。

2. 淀川左岸ブロック河川整備計画の変更にあたって

淀川左岸ブロック河川整備計画の主な変更点

- 「今後の治水対策の進め方」に基づき、治水・利水・環境の取り組みを見直し
- 各河川の当面の治水目標を新たに設定
 - ⇒穂谷川では当面の治水目標を時間雨量80ミリ程度で、前川では時間雨量65ミリ程度で床上浸水を発生させない対策に変更。
- 上記、治水目標の達成に向け、洪水対策を見直し
- 計画対象期間を変更
 - ⇒概ね10年から概ね30年に変更
- 住民が的確な避難行動をとれるよう河川情報の提供に関する事項を充実
 - ⇒洪水リスク表示図、雨量・水位データの公表、住民の安全な避難行動・地域防災活動の支援等

2. 淀川左岸ブロック河川整備計画の変更にあたって

河川整備計画の策定フロー

河川整備計画（変更原案）

← 学識経験者からの意見

大阪府河川整備審議会※（および治水部会など）
において審議

← 住民の皆様からのご意見

本日

内容の説明およびご意見の聴取

河川整備計画（変更原案）

住民の皆様のご意見を反映し修正したもの

河川整備審議会にて了承の場合

河川整備計画（変更案）

← 地方公共団体の長の意見

← 国土交通省の同意・認可

河川整備計画

策定

3. 大阪府の新たな治水対策の考え方

今後の治水対策の進め方（H22.6策定）

【基本的な理念】 人命を守ることを最優先とする。

【取組み方針】

- (1)現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2)「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- (3)府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

【当面の治水目標（今後20～30年）の設定】

○時間雨量50ミリ程度※1の降雨で床下浸水を発生させない。かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度の降雨で床上浸水を発生させない。

【河川情報の提供】

○住民が的確に避難行動がとれるよう、河川氾濫や浸水に対する情報提供に努める。

※1 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨

※2 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

将来目標（長期計画）

○府管理の全河川について、時間雨量80ミリ程度※3の降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。

※3 時間雨量80ミリ程度の降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

3. 大阪府の新たな治水対策の考え方

地先の危険度
低減に向けた

総合的・効果的な治水手法の組合せ

流出抑制

雨が降っても河川へ出る水量を減らす。
(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用など)

治水施設の保全・整備

河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避するなど、
河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。
(河川改修・堆積土砂除去など)

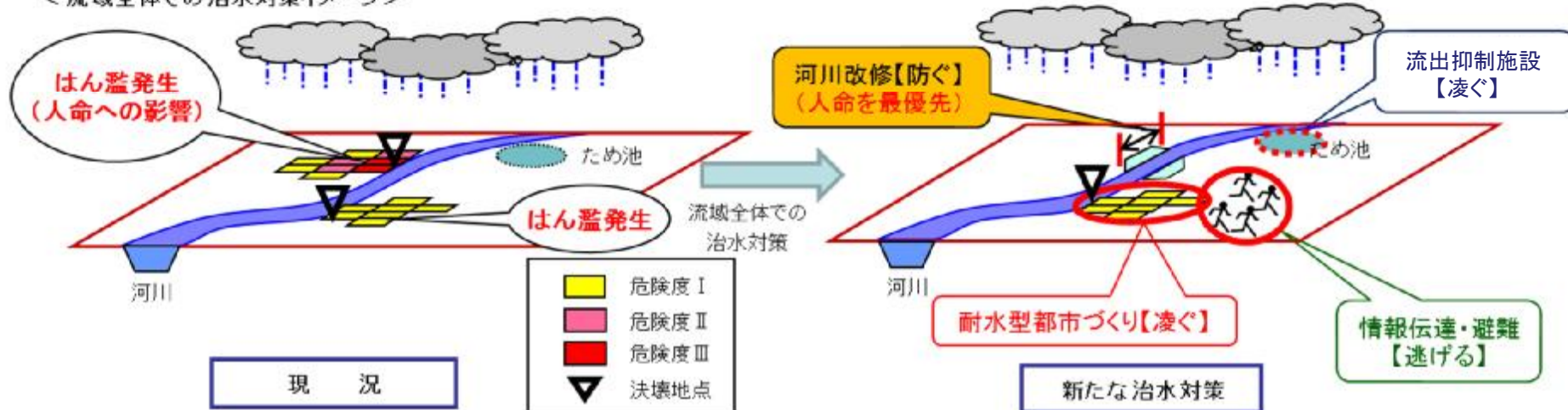
耐水型都市づくり

河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。
(家屋の耐水化・高床化などの促進)

情報伝達・避難

河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。
(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、流域市と連携した避難体制づくり
の促進など)

<流域全体での治水対策イメージ>



4. 淀川左岸ブロック河川整備計画（変更原案）の内容について

第1章 河川整備計画の目標に関する事項

第1節 流域及び河川の概要

第2節 河川整備の現状と課題

第3節 流域の将来像

第4節 河川整備計画の目標

1. 洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標
2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
3. 河川環境の整備と保全に関する目標
4. 河川整備計画の計画対象区間
5. 河川整備計画の計画対象期間
6. 本計画の適用

第2章 河川整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

第3章 その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

第1節 地域や関係機関との連携に関する事項

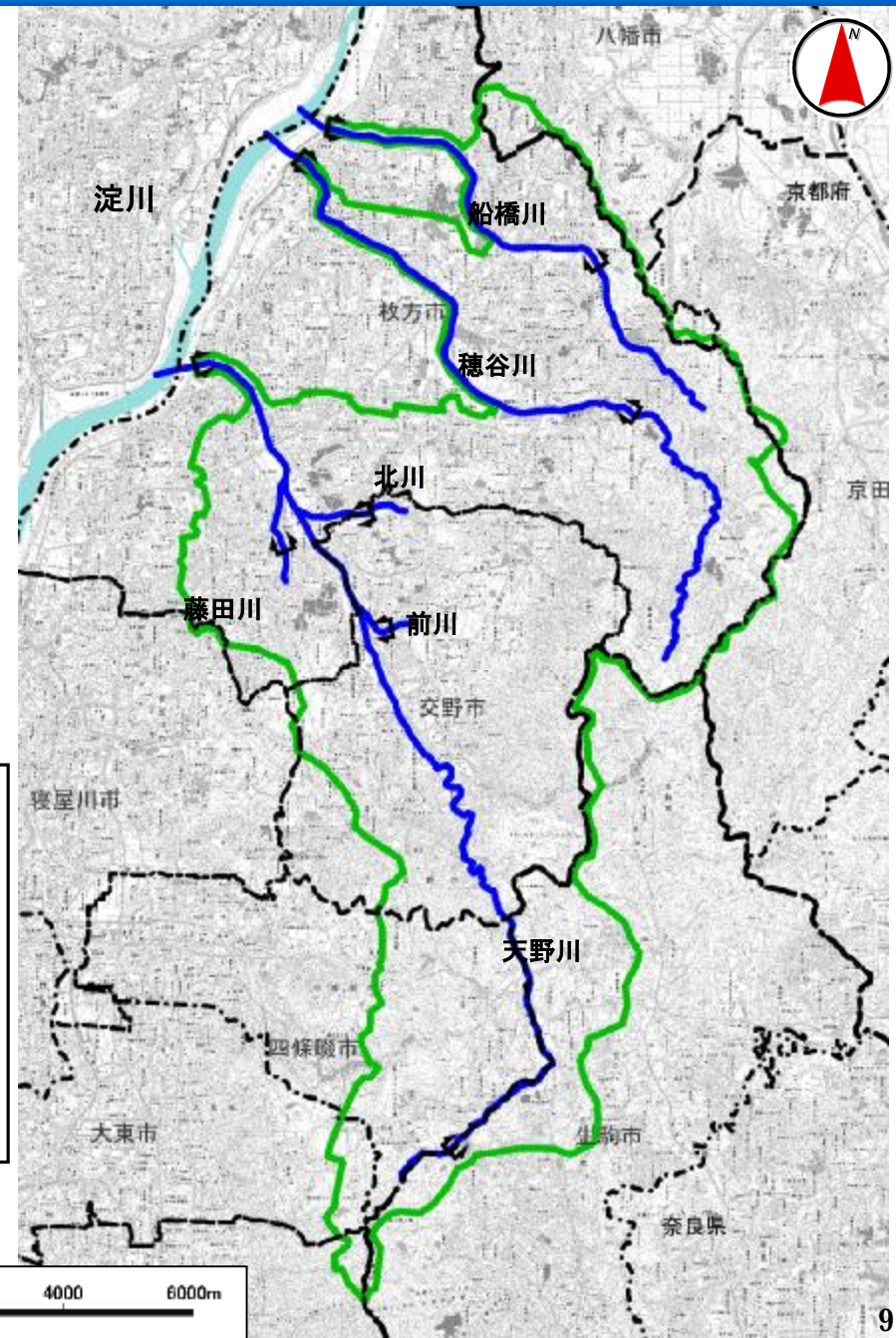
第2節 河川情報の提供に関する事項

5. 流域及び河川の概要

1. 流域の概要

淀川水系淀川左岸ブロックは、生駒山系にその源を発し、淀川左岸に注ぎ込む天野川、穂谷川、船橋川の3つの一級河川の流域から構成されます。流域は枚方市、交野市、四條畷市、大東市、東大阪市、奈良県生駒市、京都府八幡市、京田辺市の8市にまたがり、その大部分は京阪奈丘陵と呼ばれる丘陵地帯と生駒山地からなり、かつては流域全体に棚田や溜池、湿地も多く分布していました。

昭和40年頃からの高度経済成長を契機に、大阪府と京都府を結ぶ主要な交通が集中している下流部から宅地開発などによる急激な都市化が進み、現在では上流の山地付近まで都市化が進んでいます。



水系名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)
天野川	513	149
・前川	45	0.7
・北川	74	1.3
・藤田川	27	1.0
穂谷川	144	7.8
船橋川	87	52

凡 例

- 河川
- 流域界
- - - 行政界
- ↑ 河川区域

6. 淀川左岸ブロックの現状について

【各河川の特徴】

①天野川

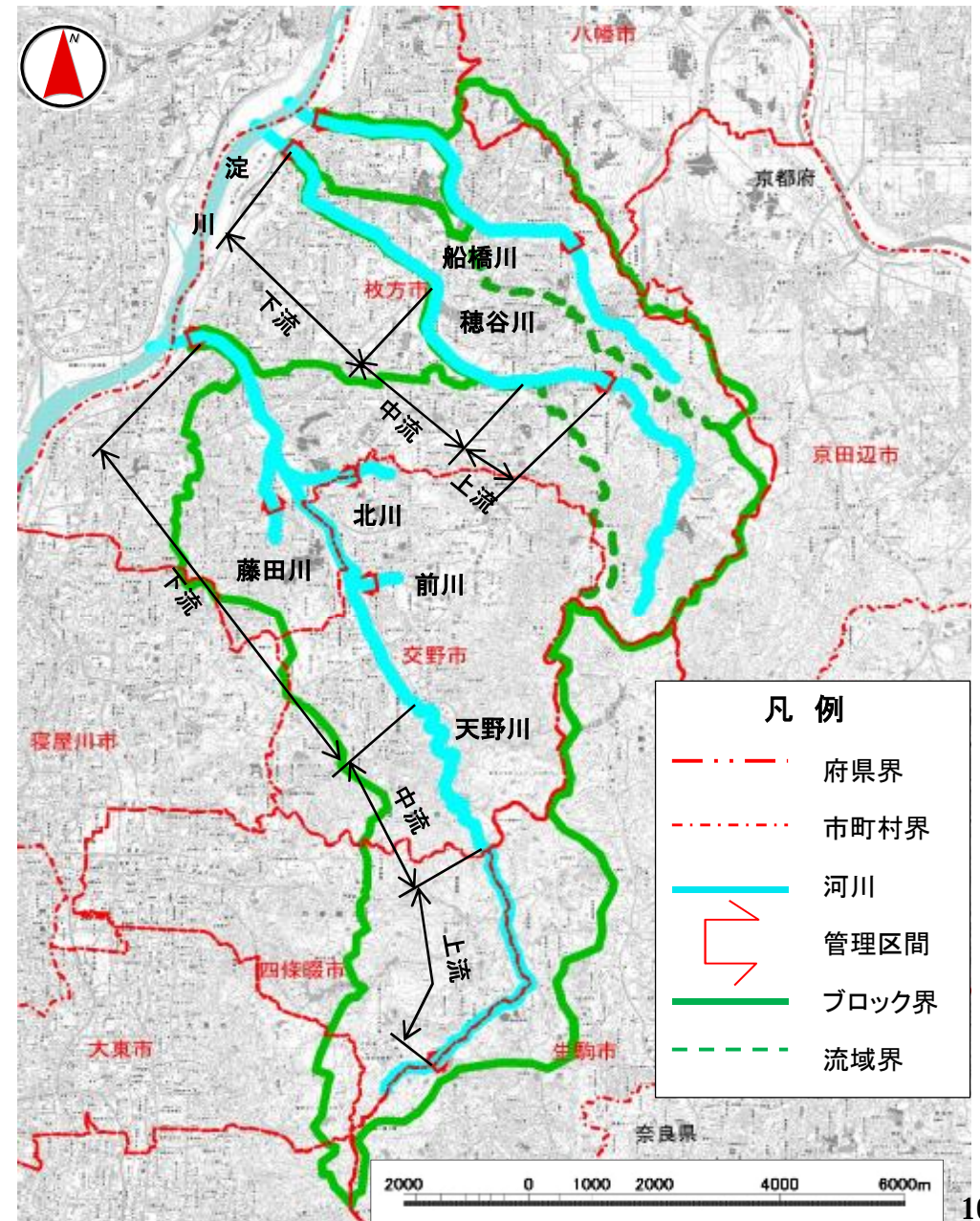
- 下流（淀川合流点～八幡橋）
⇒枚方市の中心街を流れる河川
- 中流（八幡橋～羽衣橋）
⇒岩の露出した渓流景観を呈した河川
- 上流（羽衣橋～府管理区間上流端）
⇒田園地帯を流れる小河川

②穂谷川

- 下流（淀川合流点～穂谷川新橋）
⇒枚方市の中心街を流れる河川
- 中流（穂谷川新橋～満穂橋）
⇒周辺の自然環境にとけ込んだ河川
- 上流（満穂橋～府管理区間上流端）
⇒田園地帯を流れる小河川

③船橋川

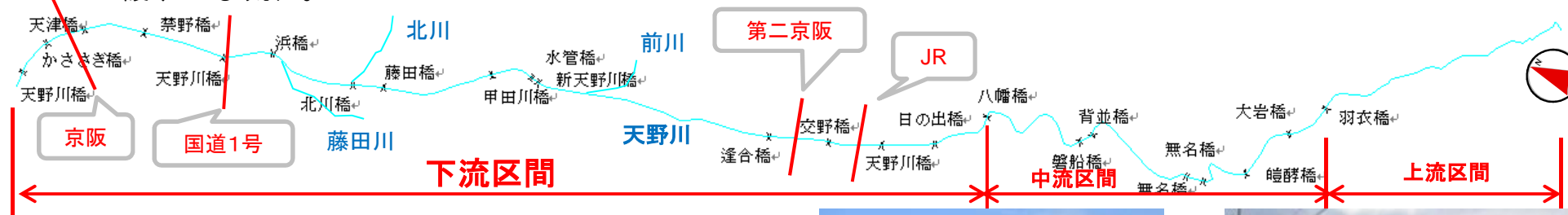
⇒市街地、田園地帯を流れる河川



6. 淀川左岸ブロックの現状について(天野川)

○下流区間

- 北川合流点付近より下流区間は築堤。川幅は約50m、河床勾配は1/620~1/820程度。
- 大部分が市街化した平野部を貫流して、淀川に合流している。
- 周辺に枚方市役所等が集中する官公庁街があり、枚方市の中心的な市街地となっている。
- 天野川支川前川は交野市市街地の平野部を流れ、川幅は4~5m程度。ブロック積み護岸の単断面で、河床勾配は約1/300と緩やかな流れ。



航空写真: Google earthより



天野川下流部



北川



藤田川

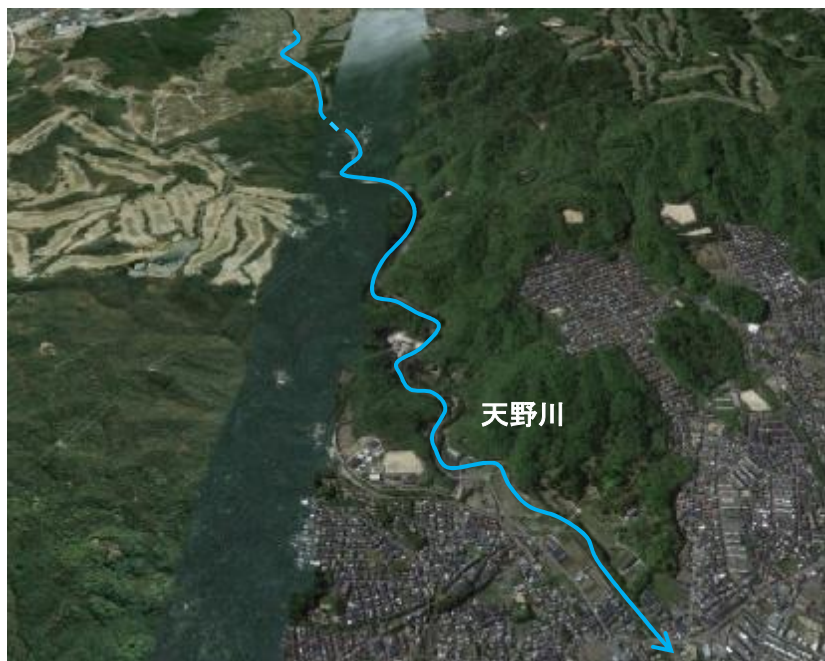
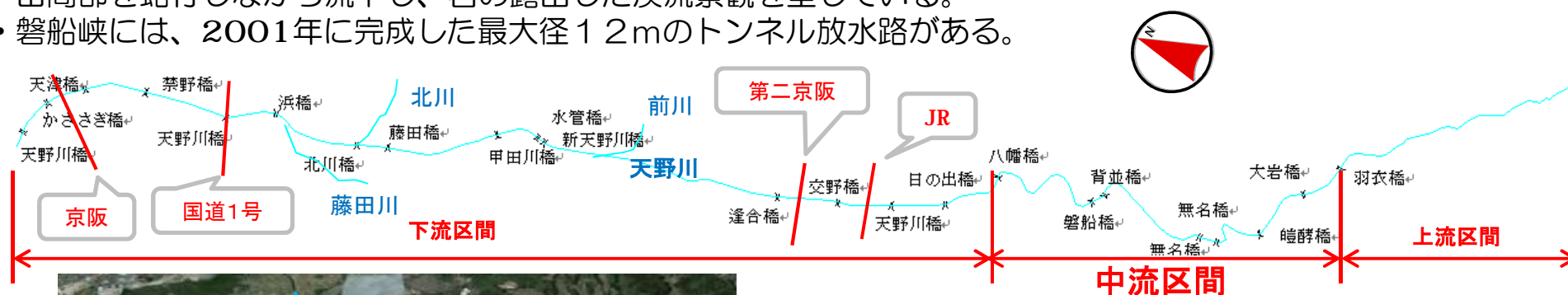


前川

6. 淀川左岸ブロックの現状について(天野川)

○中流区間

- 山付区間となっており、川幅は約20m、河床勾配は1/55～1/150程度で、一部の水衝部に石積みやブロック積護岸で整備されている。
- 小規模な瀬がところどころ見られる。河床材料は砂が主体的であるが、岩や礫なども多く見られる。
- 川沿いにはシイ、カシ等の照葉樹林や竹林が多い。
- 山間部を蛇行しながら流下し、岩の露出した溪流景観を呈している。
- 磐船峡には、2001年に完成した最大径12mのトンネル放水路がある。



航空写真: Google earthより



天野川中流部

6. 淀川左岸ブロックの現状について(天野川)

○上流区間

- 掘込区間となっており、川幅は約7m、河床勾配は1/130程度で、ブロック積護岸で整備されている。
- 上流域は緩やかな流れであり、瀬は見られない。河床材料は砂と礫が主体的である。
- 生駒山地を遠景とした田園風景の中を緩やかに蛇行しながら流下している。

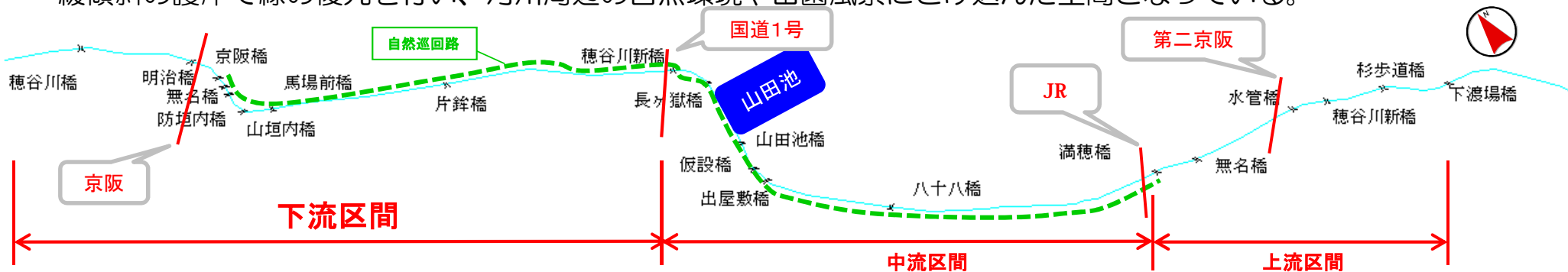


天野川上流部

6. 淀川左岸ブロックの現状について(穂谷川)

○下流区間

- ・築堤区間が多く、川幅は約20~30m、河床勾配は1/250~1/340程度で、ブロック積護岸で整備されている。
- ・大部分が市街化した平野部を貫流し淀川に合流している。
- ・緩やかな流れであり、瀬は見られない。河床材料は砂が主体的である。
- ・沿川は自然巡回路が整備されており、憩いの空間として利用されている。
- ・緩傾斜の護岸で緑の復元を行い、河川周辺の自然環境や田園風景にとけ込んだ空間となっている。



航空写真: Google earthより

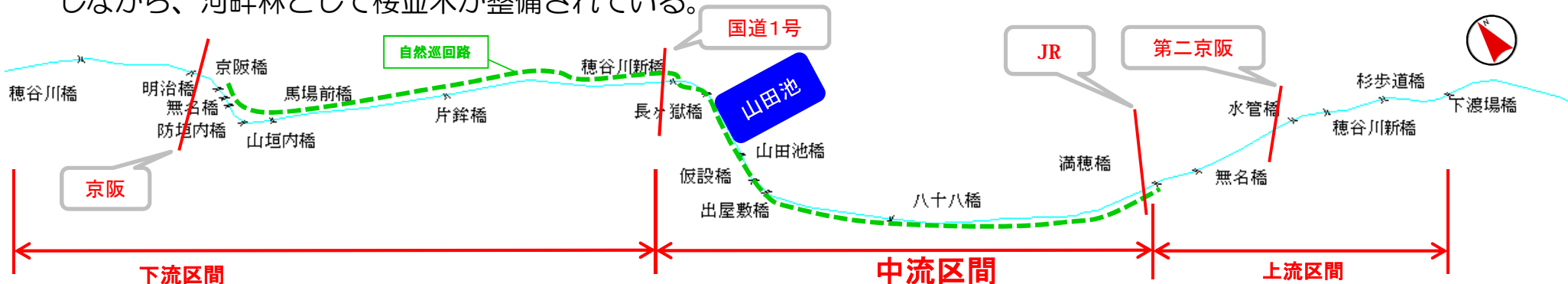


下流部(馬場前橋)上流

6. 淀川左岸ブロックの現状について(穂谷川)

○中流区間

- ・大部分が築堤区間となっており、川幅は約20m、河床勾配は1/220程度でブロック積護岸で整備されている。
- ・大部分が市街化した平野部を貫流している。
- ・全体に緩やかな流れであり、瀬は見られない。河床材料は砂が主体的である。
- ・堤防沿いは枚方市の「穂谷川自然巡回路」に指定されており、山田池公園周辺など、公園管理者、枚方市と協力しながら、河畔林として桜並木が整備されている。



航空写真: Google earthより

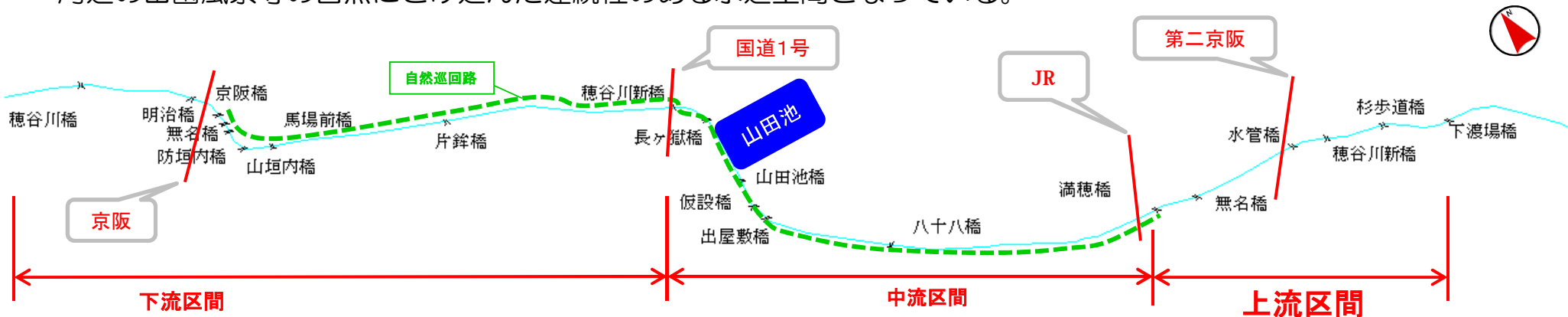


中流部(出屋敷橋上流)

6. 淀川左岸ブロックの現状について(穂谷川)

○上流区間

- ・築堤・掘込区間が混在しており、川幅は約16m、河床勾配は1/200程度でブロック積護岸で整備されている。
- ・全体に緩流域であり、瀬は見られない。河床材料は砂が主体的である。
- ・周辺の田園風景等の自然にとけ込んだ連続性のある水辺空間となっている。



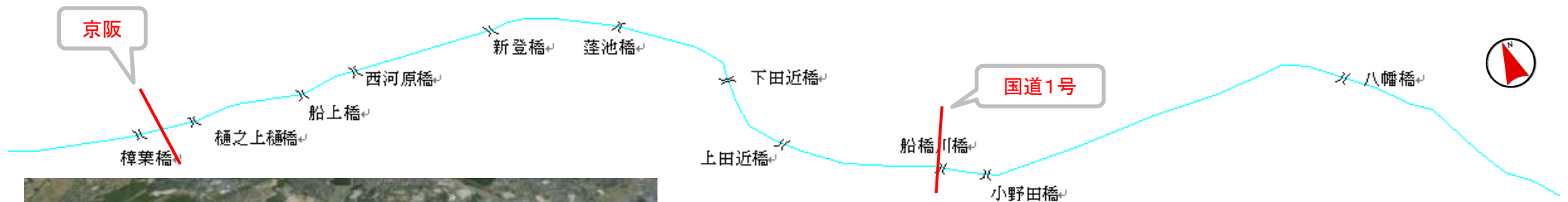
航空写真: Google earthより



上流部(満穂橋上流)

6. 淀川左岸ブロックの現状について(船橋川)

- 国道1号より下流は築堤、上流は掘込区間となっている。
- 川幅は、約20m~50mで河床勾配は1/350~1/180程度でブロック張護岸となっている。
- 大部分が市街化した平野部を貫流し淀川に合流する。
- 全体に水深は浅く緩流域であり、瀬は見られない。河床材料は砂が主体的である。
- 最下流部を除き、自然巡回路が整備されており、憩いの空間として親しまれている。
- 中、上流部は田畑や集合住宅が連なる区間を流下している。



航空写真: Google earthより



下流部



上流部

6. 淀川左岸ブロックの現状について

●魚類

- 全川を通じて、府域で広く見られる魚が確認されている。
- 全川とも、比較的自然環境が残った川に見られる魚が確認されている。
- 天野川下流に位置する新天野川橋下流でアユの遡上が確認されている。

魚類の生息状況表(平成24年調査結果)

-	天野川			穂谷川			船橋川
	下流	中流	上流	下流	中流	上流	
種数	14 (9) ※	5 (12) ※	8 (7) ※	7 (8) ※	3 (4) ※	2 (4) ※	8 (9) ※
大阪府 RDB記載種	ドンコ		タモロコ ・ カマツカ	ドンコ		タモロコ・メダカ	
	タモロコ・カマツカ ・ ドジョウ・メダカ	カワムツ	ドジョウ ・ メダカ	タモロコ・ドジョウ		メダカ	ドジョウ・ ドンコ
その他 主な種	オイカワ・モツゴ・ヌマムツ			オイカワ・モツゴ ・ コイ・ギンブナ	-	-	モツゴ・ギンブナ タイリクバラタナゴ・ タウナギ
	コイ		-				
	ニゴイ・コウライニゴイ ・ ギンブナ・アユ・ ナマズ・ブルーギル		-				



アユ



ギンブナ



カワヨシノボリ



ドジョウ

※()の数値は2006年(H18)の結果
(調査方法が異なる)

写真出典:「原色淡水魚類検索図鑑」発行 北隆館
「川の生物事典」発行 山海堂

6. 淀川左岸ブロックの現状について

●歴史・文化

- 古くから淀川の水運における中継港であった枚方は京街道をはじめとする旧街道の交通の要衝として栄え、多くの歴史文化遺産が残されている。
- 天野川では、明治時代に全国に先駆け砂防事業が行われており、当時の砂防技術の高さを示す石積みの落差工や堰堤が残されている。

歴史・文化遺産一覧表

指定区分	指定名称	位置図番号	指定区分	指定名称	位置図番号
枚方市	国指定	片笠神社本殿	交野市	国指定	北田家住宅
		牧野車塚古墳			山添家住宅
		百濟寺跡			木造阿弥陀如来立像(蓮花寺)
		祭野車塚古墳			木造薬師如来(獅子窟寺)
		巖島神社末社春日神社本殿		府指定	弘安地藏菩薩
	府指定		片笠神社東門・南門・石造灯籠	市指定	薬師如来坐像・千体仏(薬師寺)
			枚方田中邸のむく		十一面観音立像(星田寺)
			田口山弥生時代遺跡	指定無し	東高野街道
			正俊寺石造十三重塔		明遍寺
			伝王仁墓		長宝寺後(郡津神社)
			旧田中家主屋・鋳物工場		私部城跡
			釈尊寺木造釈迦如来立像		機物神社
	市指定		廃渚院観音寺鐘楼・鐘梵		神宮寺遺跡
			和田寺木造薬師如来立像		開元寺跡
			意賀美神社算額	岩倉開元寺跡	
			清泰寺木造普賢菩薩坐像・文殊菩薩坐像	寺古墳群	
			銅造誕生釈迦仏立像	東車塚古墳	
			三之宮神社の湯釜	森古墳群	
			大聖寺薬師堂内厨子	須弥寺	
		村野村高礼場	磐船神社		
			星田妙見宮(小松神社)		
			徳川家康陣営跡		
四條畷市	府指定	住吉神社の石槽	尺治川・天野川砂防堰堤		
	指定無し	田原城跡			



6. 淀川左岸ブロックの現状について

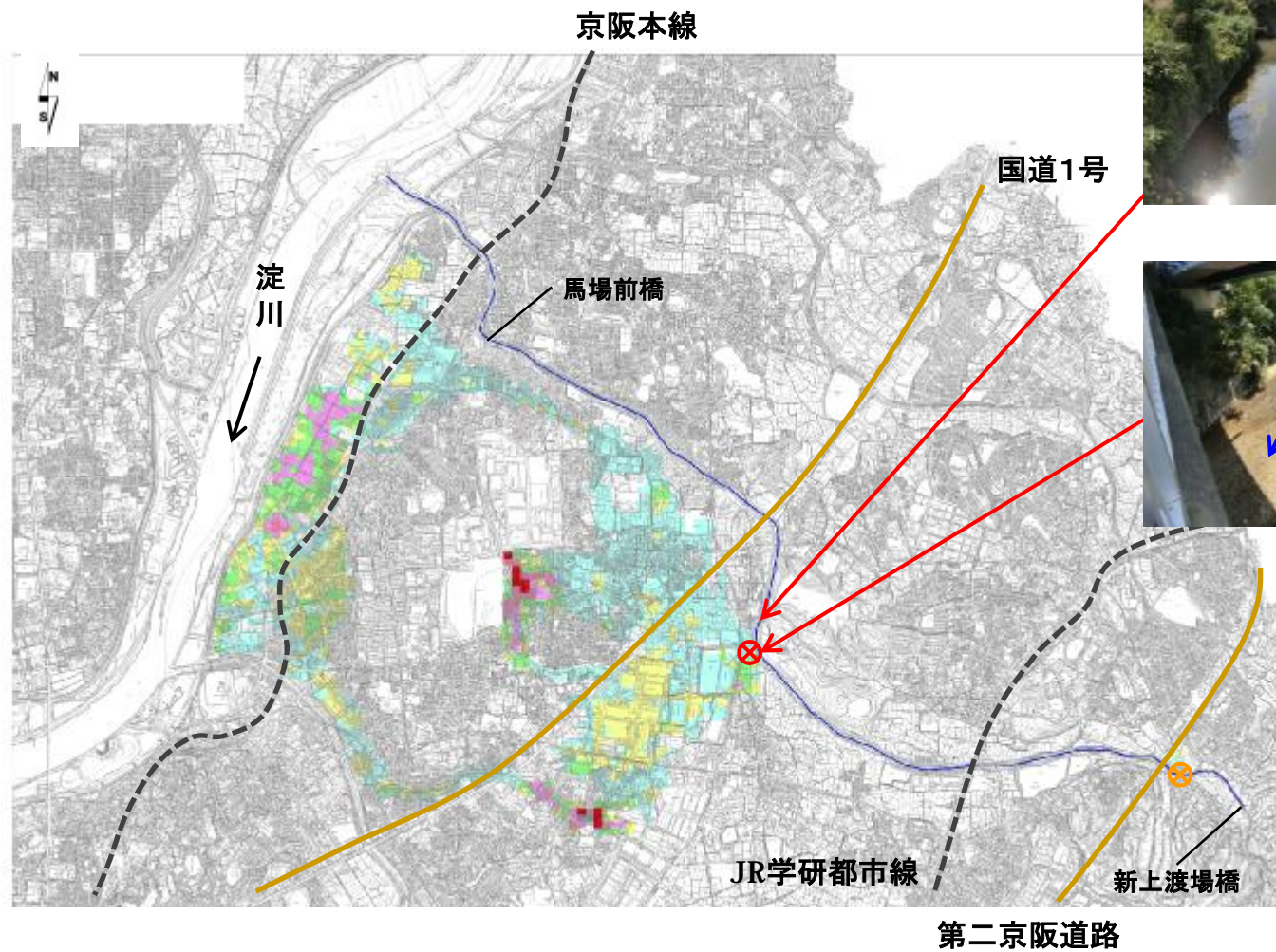
治水の現状と課題

河川名	現状(P8)	課題(P8)	目標(P12)
天野川	天野川は、昭和44年に全体計画を策定し、改修を進め、淀川合流点から八幡橋までは、時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下させることができる河川整備、羽衣橋より上流は時間雨量65ミリ程度の降雨を安全に流下させることができる河川整備が完成しています。	-	現状で治水目標レベルを達成済
藤田川	昭和30年代前半に、枚方市香里ヶ丘地区の大規模団地造成に伴い、改修が行われ、時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下させることができる河川整備が完成しています。	-	現状で治水目標レベルを達成済
北川	昭和44年に全体計画を策定し、改修を進め、時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下させることができる河川整備が完成しています。	-	現状で治水目標レベルを達成済
前川	前川は、天野川合流点から砂子橋までは、時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下させることができる河川整備が完成し、砂子橋上流において、時間雨量50ミリ程度の降雨を安全に流下させることができる河川整備を実施しています。	洪水に対する安全性を向上させる必要がある。	当面の治水目標は、時間雨量65ミリ程度とする。
穂谷川	昭和55年に全体計画を策定し、改修が進められています。淀川合流点から馬場前橋までは、時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下させることができる河川整備、馬場前橋から国道1号までは時間雨量50ミリ程度の降雨を安全に流下させることができる河川整備が完成しています。また、大阪府営山田池公園周辺および第二京阪道路から新上渡場橋区間は、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を安全に流下させることができる河川整備が実施されています。	洪水に対する安全性を向上させる必要がある。	当面の治水目標は、時間雨量80ミリ程度とする。
船橋川	昭和30年代中頃に全体計画が策定され、工業団地等の開発計画対象事業として、改修が行われ、時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下させることができる河川整備が完成しています。	-	現状で治水目標レベルを達成済

6. 淀川左岸ブロックの現状について

■ 現況河道での氾濫解析結果(穂谷川) : 被害最大となる破堤地点での破堤を想定

時間雨量50ミリ程度(1/10)



出屋敷橋上流



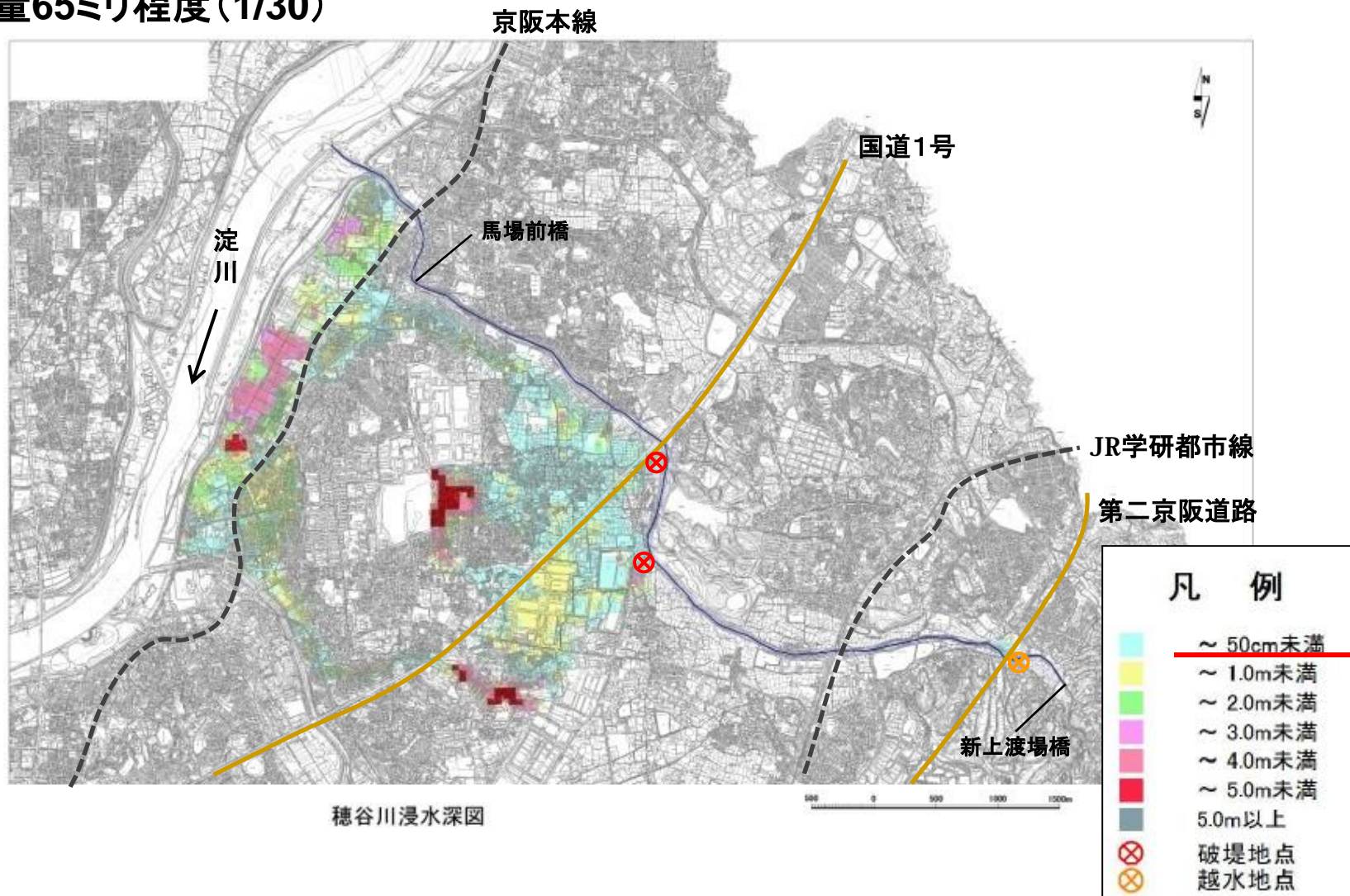
山田池橋上流

凡 例	
~ 50cm未満	床下浸水
~ 1.0m未満	
~ 2.0m未満	
~ 3.0m未満	
~ 4.0m未満	
~ 5.0m未満	
5.0m以上	床上浸水
⊗	
⊙	越水地点

6. 淀川左岸ブロックの現状について

■ 現況河道での氾濫解析結果(穂谷川)：被害最大となる破堤地点での破堤を想定

時間雨量65ミリ程度(1/30)

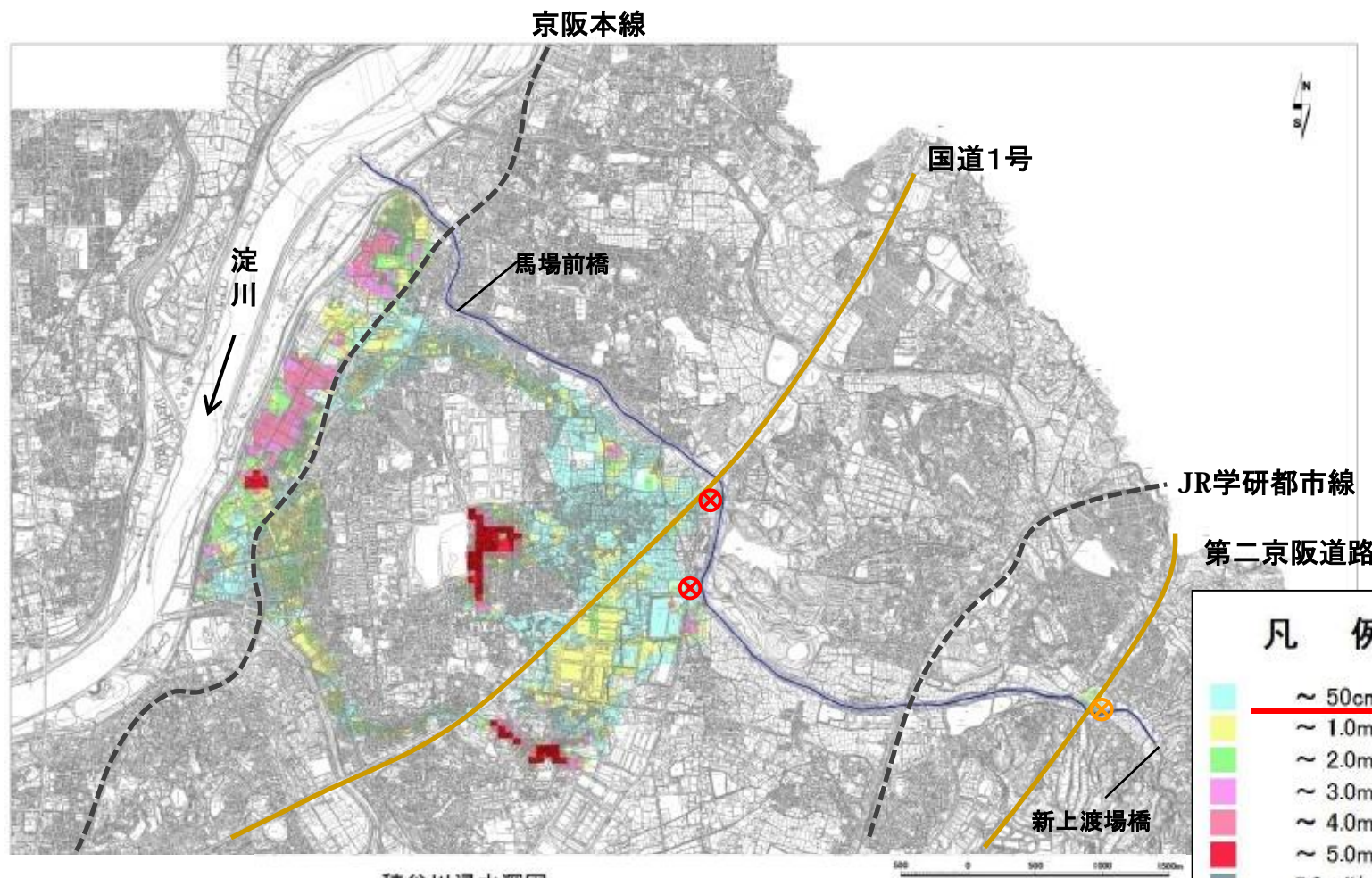


穂谷川浸水深図

6. 淀川左岸ブロックの現状について

■ 現況河道での氾濫解析結果(穂谷川)：被害最大となる破堤地点での破堤を想定

時間雨量80ミリ程度(1/100)



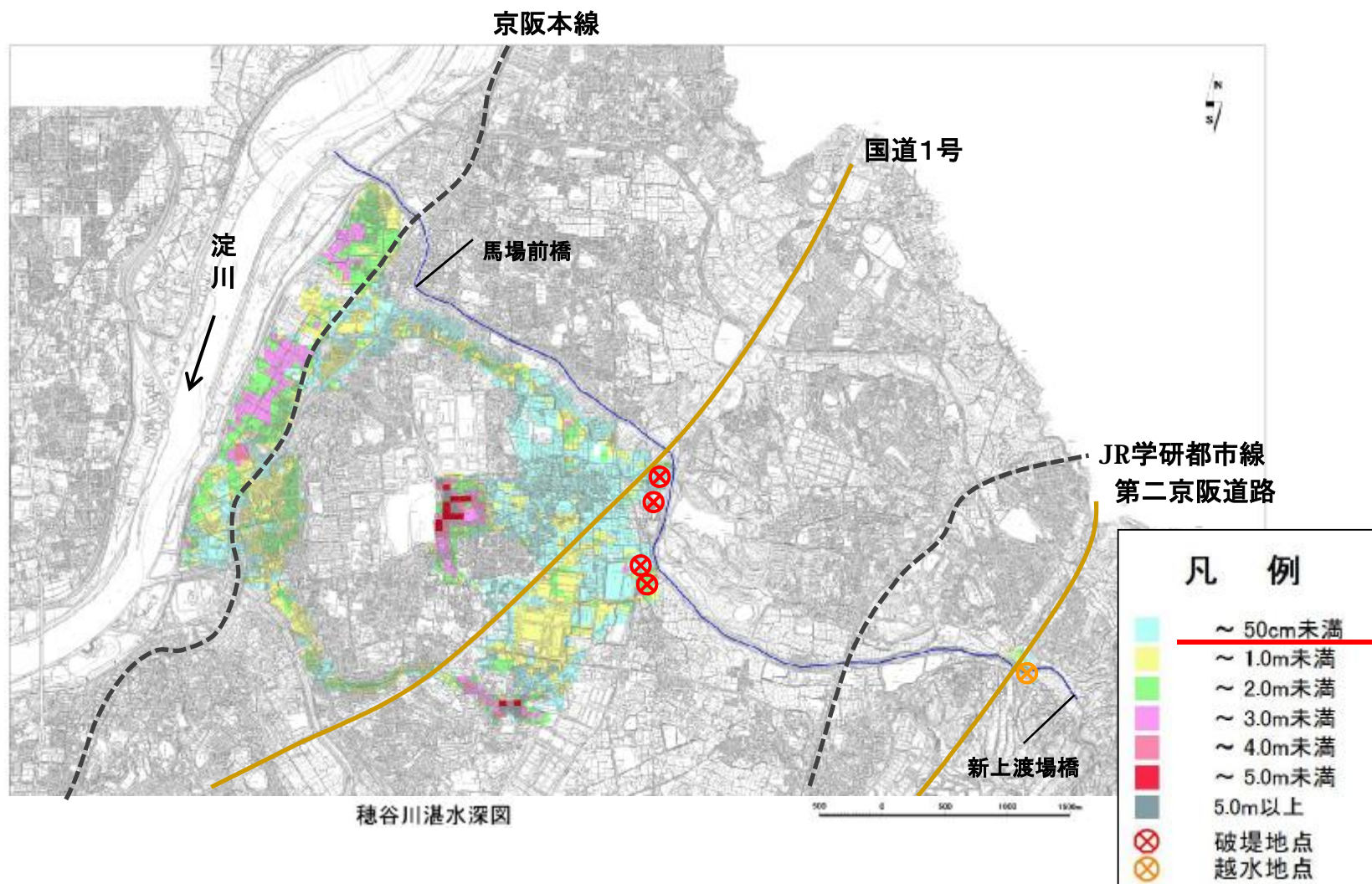
凡 例	
~ 50cm未満	床下浸水
~ 1.0m未満	床上浸水
~ 2.0m未満	
~ 3.0m未満	
~ 4.0m未満	
~ 5.0m未満	
5.0m以上	
⊗	破堤地点
⊙	越水地点

穂谷川浸水深図

6. 淀川左岸ブロックの現状について

■ 現況河道での氾濫解析結果(穂谷川)： 被害最大となる破堤地点での破堤を想定

時間雨量90ミリ程度(1/200)

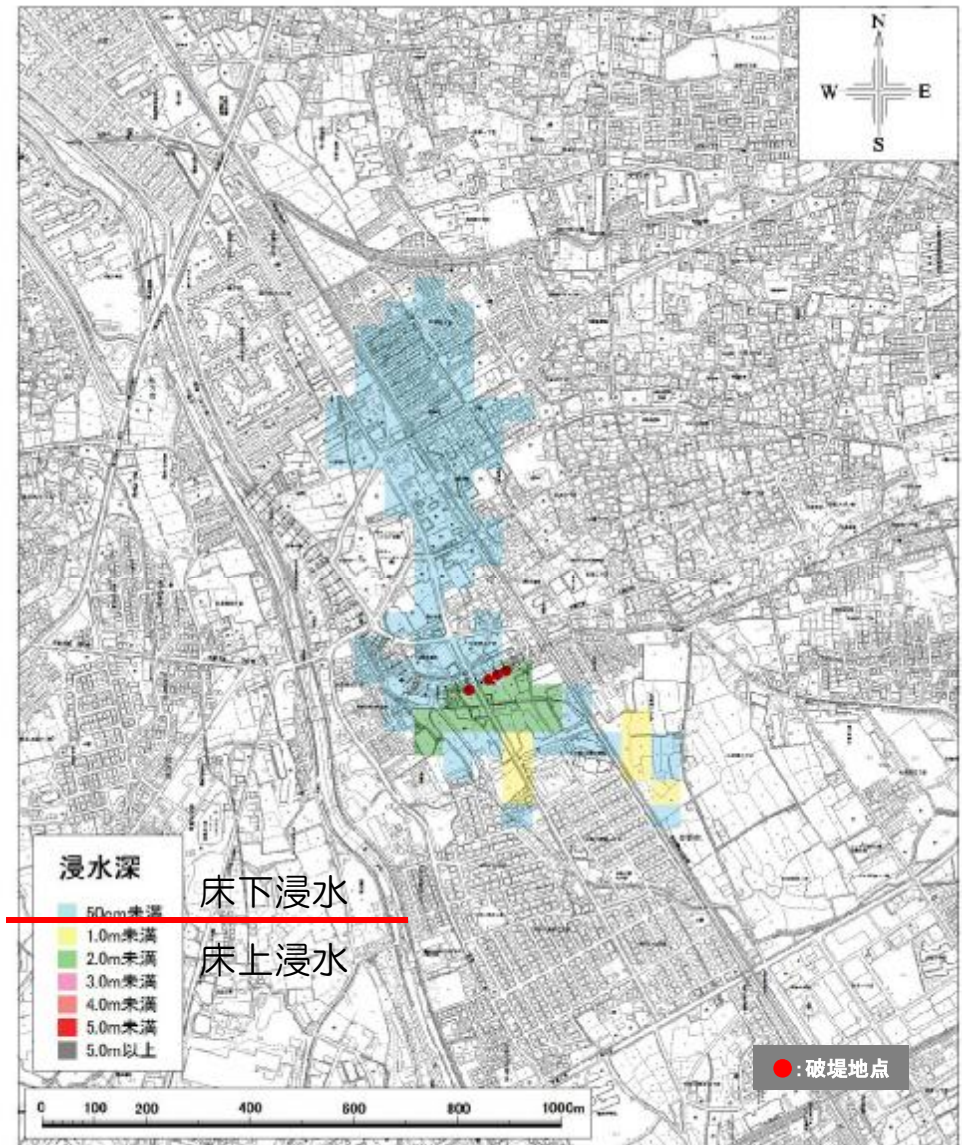


6. 淀川左岸ブロックの現状について

■現況河道での氾濫解析結果(前川)



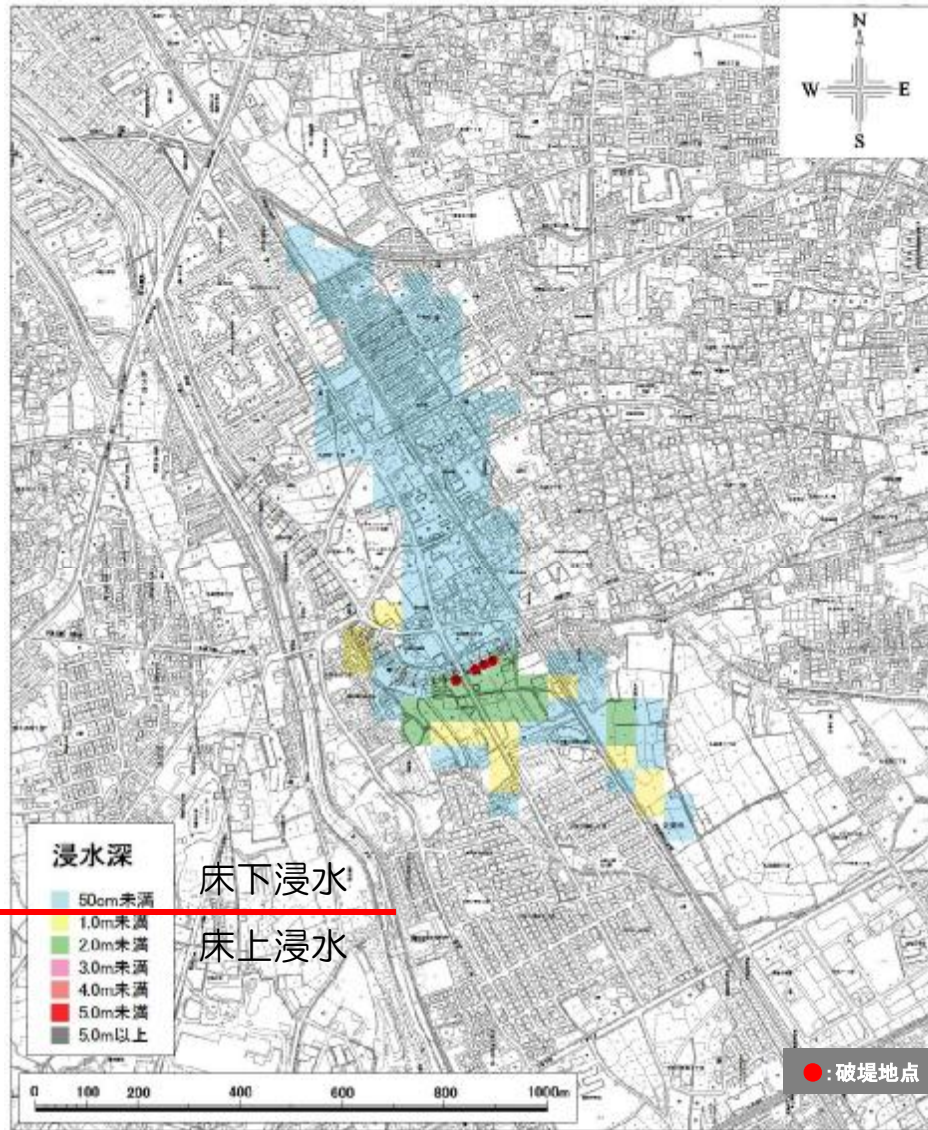
時間雨量50ミリ程度(1/10年)



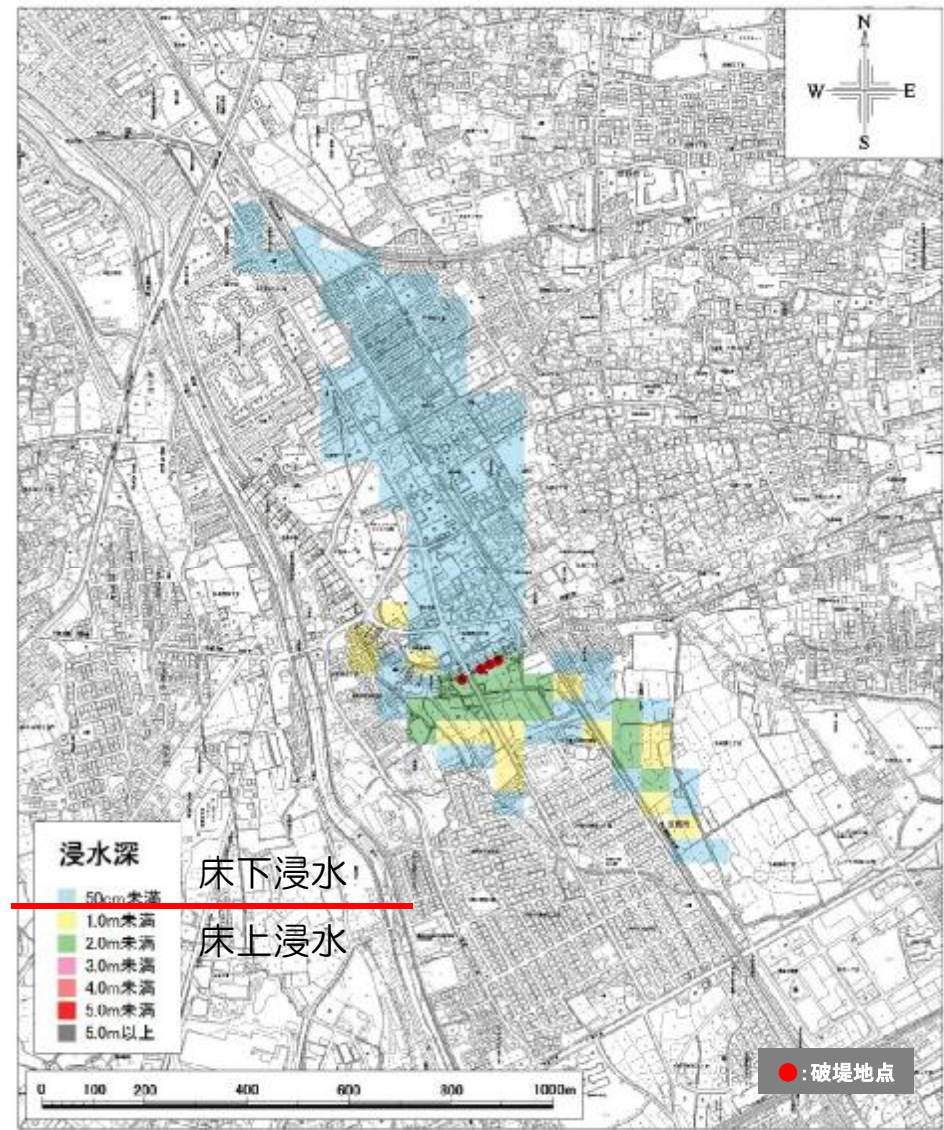
時間雨量65ミリ程度(1/30年)

6. 淀川左岸ブロックの現状について

■現況河道での氾濫解析結果(前川)



時間雨量80ミリ程度(1/100年)



時間雨量90ミリ程度(1/200年)

7. これからの淀川左岸ブロックでの取り組みについて

●大阪府のビジョン（将来ビジョン大阪）

- 生物多様性が確保できる豊かな自然環境の保全
- 河川環境の改善等による水とみどりのネットワークの創造

●枚方市のビジョン（枚方市都市計画マスタープラン）

- 淀川の自然と東部の里山を結ぶ水と緑の回廊の保全・創造
- 自然巡回路や緑道の整備を行い、緑のネットワークの創造
- 河川やため池を活用し、自然とふれあう親水空間の整備

●交野市のビジョン（交野市都市計画マスタープラン）

- 緑豊かな自然環境の保全
- 天野川を中心として、緑道、公園・緑地や公共施設などの有機的なネットワークを構築
- 河川改修については、水と親しむことのできる環境整備

●四條畷市のビジョン（四條畷市都市計画マスタープラン）

- 北生駒山地の豊かな自然環境の保全・活用
- 緑と水と歴史をいかしたうるおいのある町並みの形成
- 環境共生のまちづくり

●生駒市のビジョン（生駒市都市計画マスタープラン）

- 良好な自然環境の保全
- うるおいある水辺環境の保全・形成
- 景観に配慮した公共事業の実施



Ⅰ 治水対策を実施するにあたっては、水と緑のネットワークの構築、河川が持つ多様な自然環境に配慮し、流域住民が身近に親しめる水辺空間の創造、地域の歴史や景観に配慮した河川整備が望まれています。

7. これからの淀川左岸ブロックでの取り組みについて

河川整備計画の目標

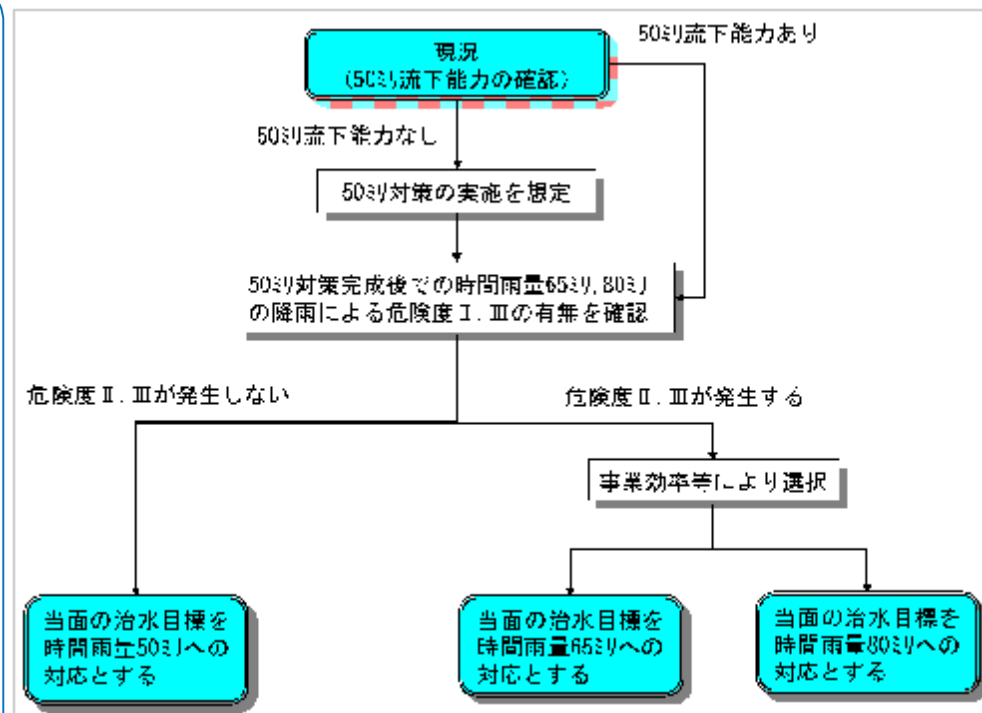
1) 洪水対策

I 当面の治水目標（今後20～30年程度）

- ◆基本理念：人命を守ることを最優先とする。
- ◆大阪府全域で時間雨量50ミリ程度の降雨に対して床下浸水を防ぐ。
- ◆その後、事業効率等を考慮して、時間雨量65ミリ程度もしくは時間雨量80ミリ程度のいずれかの降雨による床上浸水を防ぐ。

II 淀川左岸ブロックの当面の治水目標

- ◆穂谷川：時間雨量80ミリ程度
- ◆前川：時間雨量65ミリ程度
- ◆その他：現状で目標治水レベル達成済



当面の治水目標設定フロー

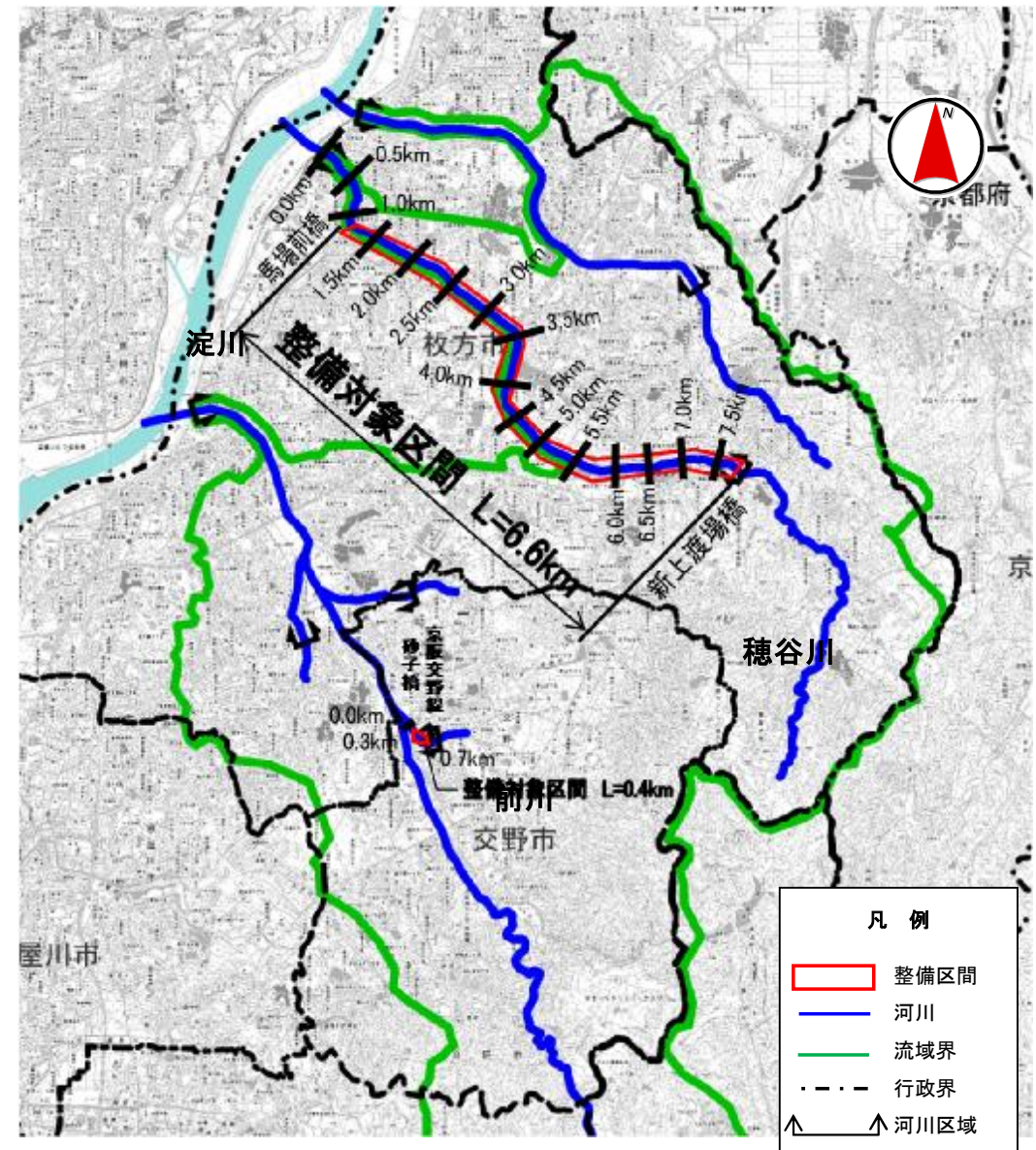
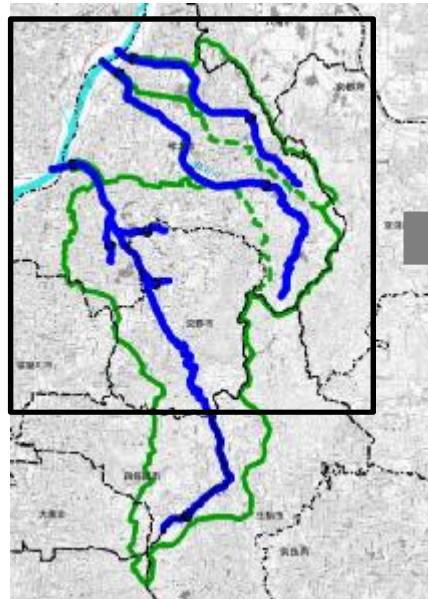
ただし、当面の治水目標に基づく河川整備が進んでも危険度Ⅰ（床下浸水）は残る箇所もあります。

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

1. 洪水対策(P15)

整備対象区間

河川名	整備対象区間	整備延長
前川	砂子橋下流～京阪交野線下流 (0.3km～0.7km)	約 0.4km
穂谷川	馬場前橋上流～国道1号 (1.1km～3.4km)	約 2.3km
	国道1号～山田池橋 (3.4km～4.4km)	約 1.0km
	山田池橋～新上渡場橋下流 (4.4km～7.7km)	約 3.3km

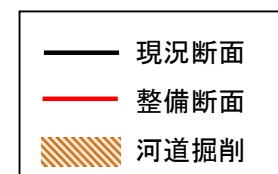
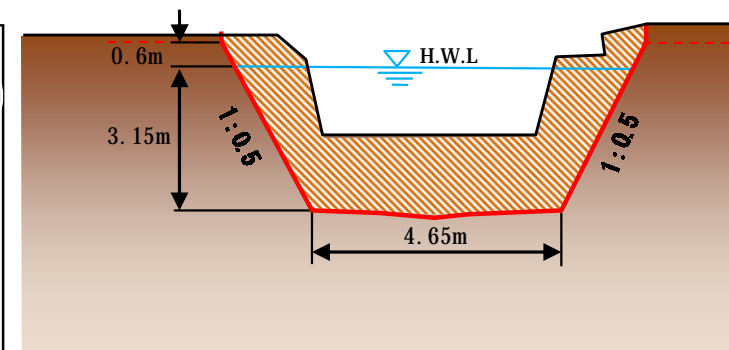


整備対象区間平面図

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

前川の洪水対策(P17)

河川名	整備対象区間	整備内容
前川	砂子橋上流～京阪交野線 下流0.3km～0.7Km	河道拡幅及び河床掘削により流下能力を確保します。 河道改修の際には、隣接する住宅地との景観の調和並びに現況の自然環境に配慮し、河岸の保全、上下流の生物移動の連続性の確保に努めます。

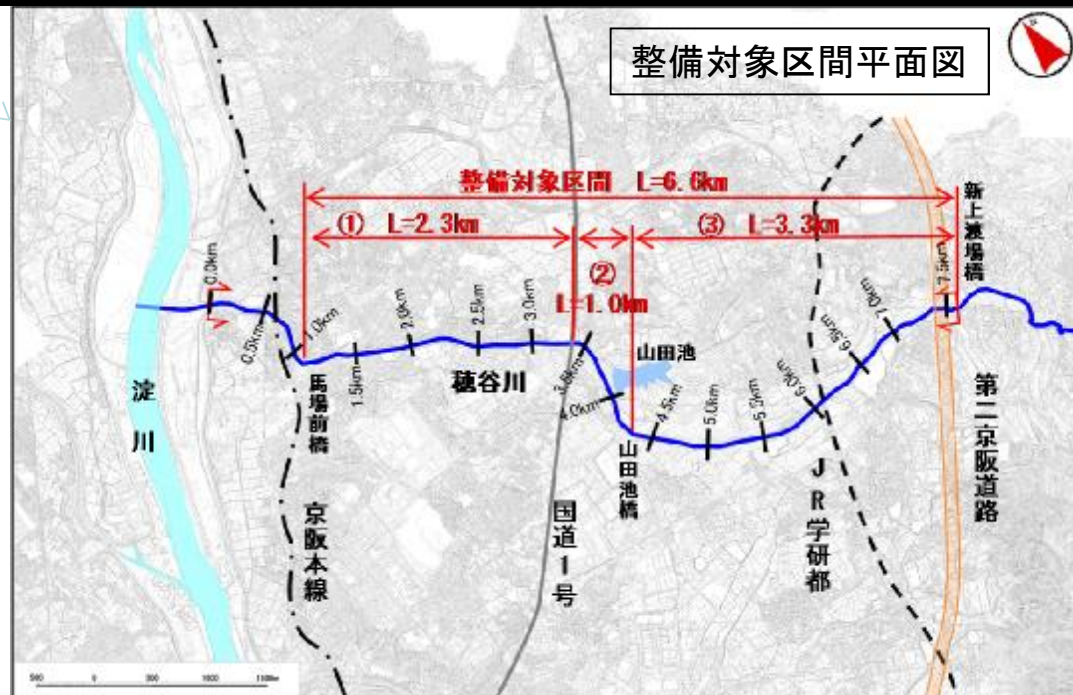


整備計画断面例(0.5km付近 砂子橋上流地点)

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

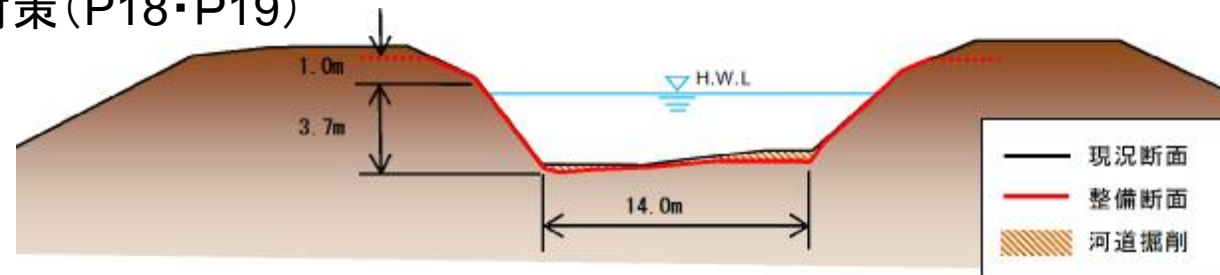
穂谷川の洪水対策(P18・P19)

河川名	整備対象区間	整備内容
穂谷川	①馬場前橋上流 ～国道1号上流 (1.1km付近～3.4km)	河床掘削及び既設護岸の根継ぎにより流下能力を確保するとともに、老朽化護岸対策として既設護岸の積み替えを行います。 河道改修の際には、隣接する住宅地との景観の調和並びに現況の自然環境に配慮し、河岸やみお筋の保全、上下流の生物移動の連続性の確保に努めます。
	②国道1号上流 ～山田池橋の未改修部分 (3.4km付近～4.4km)	河道拡幅及び河床掘削により流下能力の確保を行うとともに、堤防の補強を行います。 河道改修の際には、隣接する府営山田池公園や住宅地との景観の調和並びに現況の自然環境に配慮し、河岸やみお筋の保全、上下流の生物移動の連続性の確保に努めます。 なお、府営山田池公園付近は、公園計画と一体となった河川整備や水辺空間の整備を行います。
	③山田池橋 ～新上渡場橋下流 (4.4km付近～7.7km)	河床掘削により流下能力を確保します。河道改修の際には、周辺の田園風景との景観の調和並びに現況の自然環境に配慮し、河岸やみお筋の保全、上下流の生物移動の連続性の確保に努めます。

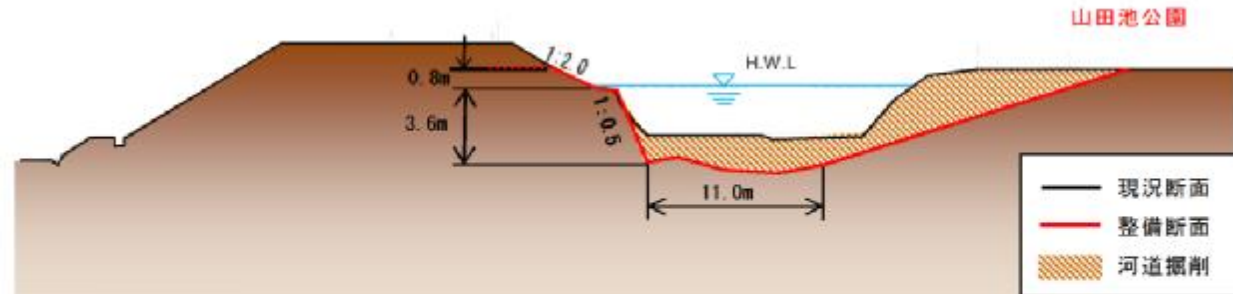


7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

(2) 穂谷川の洪水対策(P18・P19)



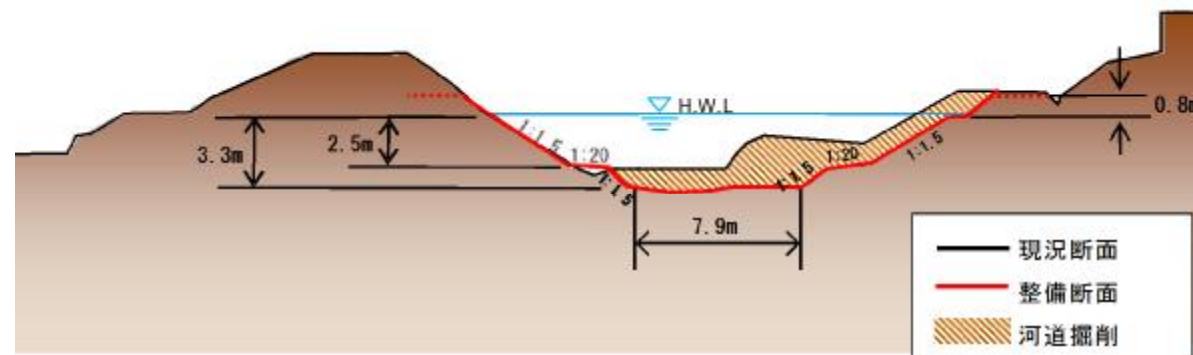
整備計画断面例(1.4km付近 国道1号下流地点)



山田池公園

+ 山田池公園側の法勾配は、植生に配慮し
変化をつけるものとします。

整備計画断面例(4.1km付近 山田池公園地点)



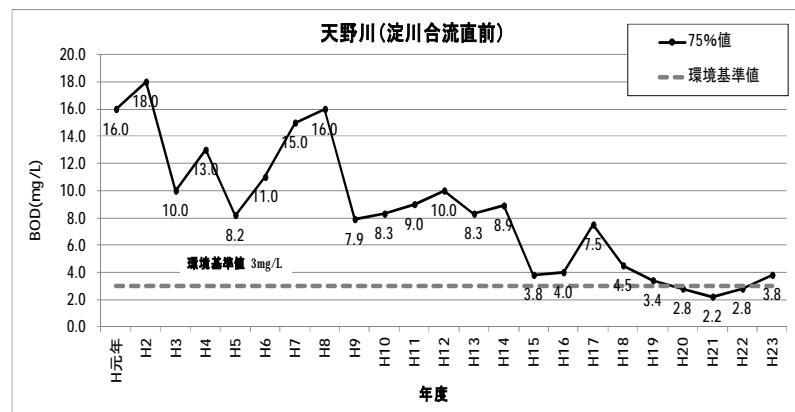
整備計画断面例(4.4km付近 山田池橋上流地点)

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

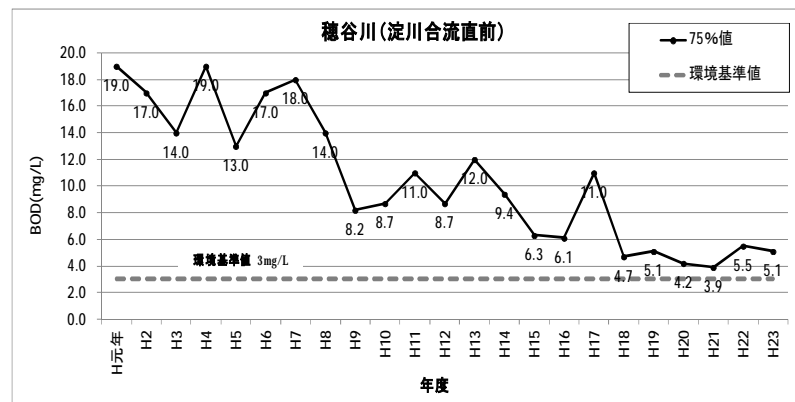
3. 河川環境の整備と保全 (P20)

(1) 水質

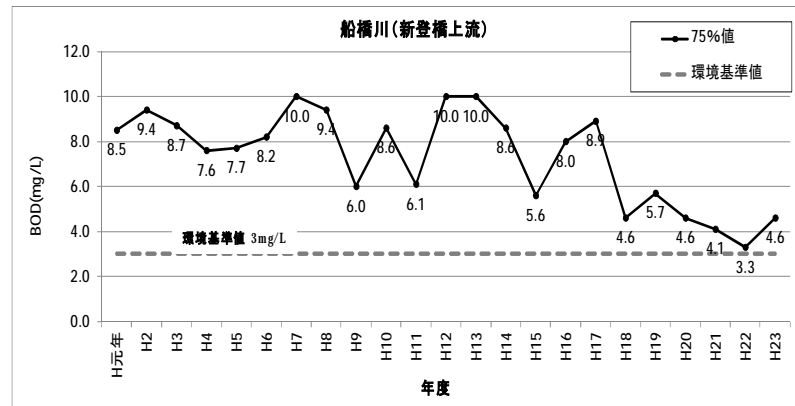
<p>現状 (P9)</p>	<p>天野川、穂谷川、船橋川における水質汚濁の環境基準は、3河川ともB類型に指定されています。平成7年頃より、下水道普及率の上昇に伴い、水質は改善傾向にあります。しかし、依然として環境基準を達成していないことから、今後も関係機関や住民と連携して水質改善に努めていく必要があります。</p>
<p>目標 (P13)</p>	<p>下水道等の関係機関や、地域住民と連携し、より一層の改善を目指します。また河川で活動している地域住民やNPO等と連携し、河川美化、環境教育などにより水質の改善を目指します。</p>
<p>実施 (P20)</p>	<p>環境基準を満足することはもとより、多様な生物の生息・生育環境を保全するため、流域市の環境部局による行政指導や下水道整備・接続を促進し、河川への生活排水の流入の削減に努めます。また、関係機関や地域住民、学校、NPO等と連携し、水質改善に向けた環境学習、啓発活動等を進めます。</p>



河川水質 (天野川)



河川水質 (穂谷川)



河川水質 (船橋川)

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

3. 河川環境の整備と保全 (P20)

(2) 自然環境

現状・課題(P10)	目標(P13)	実施(P20)
<p>天野川、穂谷川、船橋川は、市街地内の貴重な水辺空間として利用されており、魚類や水生生物、水辺の植物等が生息し、貴重種も確認されています。現存する良好な自然環境については今後も保全する必要があります。</p> <p>天野川下流部ではアユも確認されていますが、各河川ともに取水堰や床止めなどの河川横断構造物が数多く存在し、さらに魚道が設置されている河川横断構造物は限られ、生物の移動に影響を与えています。生物の多様性を確保するためには、縦断的な連続性を改善する必要があります。</p>	<p>河川工事実施に際しては、河川全体の自然の営みや周辺環境の土地利用状況を視野に入れたうえで、「河岸やみお筋の保全」、「上下流の生物移動の連続性確保」、「周囲の景観との調和」など河川毎の特性に応じ、多自然川づくり)を取り入れ、それぞれの河川が本来有している生物の生息・生育環境の保全・再生を目指します。</p> <p>河川に親しみ、ふれあい活動の場にするため、関係機関や地域住民と連携し、散策路や川に近づくための階段等の整備を図るなど、川と人との豊かなふれあい活動の場の維持・形成を目指します。</p>	<p>瀬や淵、河道内の植生など良好な自然環境が見られる箇所もあり、河川整備にあたっては河床の平坦化を避け、瀬や淵の形成を促すなど、可能な限り自然環境の保全を図り、動植物の生息・生育環境の保全・再生に努めます。</p>

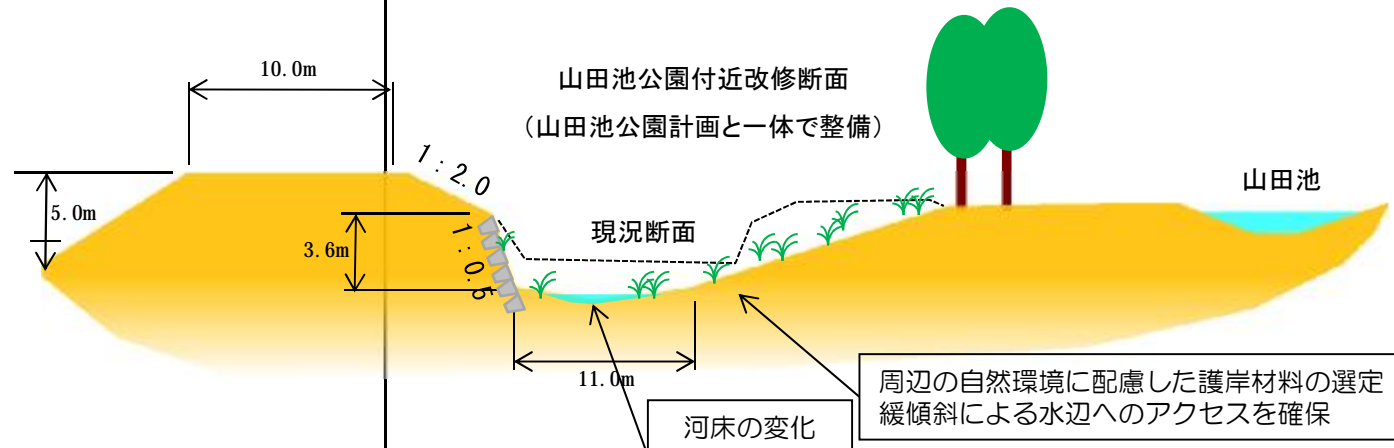


7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

3. 河川環境の整備と保全 (P20)

(3) 景観・親水性

現状・課題 (P10)	目標 (P13)	実施 (P20)
<p>天野川、穂谷川、船橋川は、一部を除いて、コンクリートブロック積護岸等が連続するため、人工的な景観となっており、また、瀬と淵が分布している箇所や砂州に植生が繁茂している箇所も見られます。</p> <p>河川整備や維持管理にあたっては、砂州上の植生は、流水の阻害となるため、改善を図りつつも、水際や堤防の植生により人工的な景観を和らげ周囲の景観との調和に配慮する必要があります。</p> <p>天野川、穂谷川、船橋川は、アドプト・リバー・プログラムや河川環境学習等、住民の活動の場として活用されていますが、河道内へのアクセスの乏しい箇所もあり、親水階段の設置等、アクセスの改善を図る必要があります。</p>	<p>豊かな河川環境は重要な地域資源であり、良好な景観を維持・形成するため、川の周辺も含めた空間を考え、景観に配慮した材料を採用するなど、周辺環境との調和を目指します。また、関係機関や地域住民と連携し、地域住民が愛着を持てる空間づくりを目指します。特に、都心部においては、民間企業等の連携により、都市のシンボルとしての質の高い利用の促進を目指します。</p>	<p>河川整備の際には、河川周辺の土地利用などと調和した河川景観の形成に努めます。</p> <p>周囲の景観に配慮した護岸材料の選定などの工夫を行うとともに整備区間の現地状況及び多自然川づくりの必要性を検討の上、瀬と淵、水際植生の保全・再生を行います。</p> <p>なお、穂谷川では、隣接する府営山田池公園から穂谷川へのアクセスが確保できるよう公園計画と一体となった河川整備を行い、安全対策と利用ルールを策定の上、水辺に触れ合えるような親水空間を創出します。</p> <p>また、アドプト・リバー・プログラムや河川環境学習等により、河川が住民の活動の場として活用されるよう、河道内へのアクセスの乏しい河川では、安全対策と利用ルールを策定し、親水階段の設置等、アクセスの改善を図ります。</p>



7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

3. 河川環境の整備と保全 (P20)

(4) 水量

現状・課題 (P9)	目標 (P12)	実施 (P20)
天野川、穂谷川、船橋川の流況は、全体的に水量は少なく、灌漑期において、穂谷川と船橋川で瀬切れ現象)が発生し、魚類や水生生物の生息・生育状況に影響を与えています。	近年、渇水被害は報告されていませんが、安定した農業用水の取水、魚類や水生生物の生息・生育環境を保全するために、適正かつ効率的な水利用を目指します。	流水の正常な機能を維持し適正な河川管理を行うため、継続的な雨量、水位の観測データの蓄積と分析による水量の状況把握や取水堰等の流水の利用実態の調査を行います。



穂谷川



船橋川

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

3. 河川環境の整備と保全 (P20)

(5) 水利用

現状・課題(P9)	目標(P12)	実施(P20)
天野川、穂谷川、船橋川の水利用は、主に中、上流部で農業用水として取水され利用されています。近年、渇水被害は報告されていませんが、現状の利用実態状況を把握する等、適正かつ効率的な水利用に努める必要があります。	近年、渇水被害は報告されていませんが、安定した農業用水の取水、魚類や水生生物の生息・生育環境を保全するために、適正かつ効率的な水利用を目指します。	農業用の取水堰や床止め工等の河川横断構造物の利用実態の把握により、利用実態のない取水堰の撤去や床止め工の改善と合わせて、魚道の設置等により上下流の連続性の確保に努めます。また、整備や補修を実施する際には、自然環境や景観に配慮し、適切な対策を行います。



天野川(魚道有り)



穂谷川(魚道無し)



船橋川(魚道無し)

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

維持管理における課題

- 護岸の設置後30年以上が経過し、老朽化が進んでおり、出水の際に護岸が損傷するおそれが高まっている。
- 局所的な洗掘による、被災のおそれ。
- 土砂堆積による河積阻害。

目標

- 老朽化護岸対策を行う。
- 河川の土砂の堆積、植生の繁茂及び河床低下については、その状況を定期的に調査し、河川の断面に対して阻害率の高い区間を把握するとともに、地先の危険度等を考慮して計画的な維持管理、対策を行う。
- 河川の有する多面的な機能を十分に発揮させる様、適切な管理を行う。

実施

- 施設の定期点検や必要に応じた緊急点検を実施し、構造物の損傷、劣化状況の把握に努め、人命を守ることを最優先に、地先の危険度や土地利用状況などを考慮し優先順位を定めて、危険度の高い箇所から計画的に補修を行う。
- 維持管理の基本となる河道特性や河川管理施設の情報を整理・蓄積し、河川カルテを作成するとともに維持管理計画を策定して、計画的かつ効率的な維持管理を行う
- 許可工作物に対しても、良好な状態が保たれるよう指導を徹底していく。
- 河川区域で違法に行われている耕作、工作物の設置等を監視・是正するため、定期的に河川巡視を行うとともに、地域や関係機関との連携により、監視体制を重層化する。
- 日常的に河川空間が活用され、多くの人が川に親しみ愛着をもてるように、さまざまな地域団体の活動や教育機関と連携し、河川美化活動や環境学習の促進等に努める。

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

●河川の状況

【天野川】

- ・府民の森・ほしだ園地の他、川沿いにある交流拠点と連携した水辺プラザ等が水辺空間として利用されている。
- ・3河川の内、市民団体の活動が多く、親水施設が整備されている。

【穂谷川】

- ・中下流部において、川沿いに自然巡回路が整備されている。
- ・中流部には山田池公園があり、豊かな自然環境となっている。

【船橋川】

- ・中流部において、川沿いに自然巡回路が整備されている。



天野川水辺プラザ



山田池公園



自然巡回路
(穂谷川、船橋川)

写真出典:「枚方市景観基本計画」より

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

●空間利用

- ・3河川とも、数多くの市民団体が存在し、地元の環境保全グループによる水生生物観察会や清掃活動等が行われている。
- ・市民と連携しながら、堤防への桜（ソメイヨシノや里桜など）の植樹、高水敷等に設置された芝生広場や親水公園を利用した河川愛護活動が行われている。

河川名	名称・団体名	実施場所
天野川	アドプト・リバーNALC 天野川	かささぎ橋～天野川新橋
	アドプト・リバー 西禁野	かささぎ橋～天津橋
	アドプト・リバー 天野川を美しくする会	星のブランコ駐車場～逢合橋
	アドプト・リバー 宮乃阪	天津橋～禁野橋
	アドプト・リバー 星の町	天野川新橋～浜橋
	アドプト・リバー&ロード みんなの会	新天野川橋～上流川約100m地点
	アドプト・リバー 天野川を清流にする会	浜橋～藤田川合流（上流三角地帯）
	アドプト・リバー わいず倶楽部枚方	天津橋～天野新橋
	アドプト・リバー 天野川桃源郷	戎川～羽衣橋
穂谷川	アドプト・リバー 津田北町	満穂橋～津田北町1丁目
	アドプト・リバー 穂谷川ひまわりの会	穂谷川橋～片鉾橋
	アドプト・リバー 牧野阪	京阪牧野橋～馬場前橋
船橋川	アドプト・リバー めいしゃ船橋川	船上橋～新登橋
	アドプト・リバー 西船橋	西河原橋～樋之上京阪鉄橋
	アドプト・リバー 北山	小野田橋～ぼえむ橋
	アドプト・リバー&ロード 南船橋第3	新登橋～下流川へ約350m



天野川の清掃活動状況
写真出典:「アドプト・リバーNALC」HP より



穂谷川の桜と菜の花
写真出典:「枚方市景観基本計画」より

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

河川情報の提供

- I 河川氾濫や浸水に対しては、住民が的確に避難行動をとれるよう、水害に強い地域づくり協議会や流域市と連携した情報提供の実施
- I 情報提供にあたっては、行政からの一方的なものにとどまらず、地域特性に応じたものとなるよう、ワークショップ等を通じて、住民からの過去の浸水被害等の情報を取り入れ構築
 - ① 現状の河川氾濫・浸水による危険性の周知
 - ② 必要な情報の提供及び伝達
 - ③ 住民の防災意識の醸成

具体的な取り組み

- ① 様々な降雨による地先の危険度をわかりやすく周知する洪水リスク表示図の公表
- ② 地域単位でのワークショップの開催等による地域住民へ洪水リスクの周知
- ③ 過去の災害実績や避難経路の確認（防災マップ作成、簡易型図上訓練等）
- ④ 住民が自ら行動できる避難体制づくり（自主防災組織の設立、防災リーダー育成等）



まち歩きの状態



手作りハザードマップと作成風景



7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

1) 洪水はん濫・浸水の危険性の周知

- I 現況での洪水はん濫・浸水の危険性に対する地域住民の理解を促進するため、淀川左岸ブロックでは洪水リスク表示図を開示しています。
- I この表示図では、現況の河道で時間雨量50ミリ程度（1/10）、時間雨量65ミリ程度（1/30）、時間雨量80ミリ程度（1/100）、時間雨量90ミリ程度（1/200）降雨時の4パターンのはん濫解析結果を危険度（3段階）、最大浸水深（7段階）の2パターンで表示します。

洪水リスク表示図

【大阪府 洪水リスク表示図】 <http://www.river.pref.osaka.jp/>

家にパソコンがなくても枚方市役所、交野市役所、四條畷市役所、大阪府枚方土木事務所などで閲覧できます。



地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。



各土木事務所での洪水リスク表示図の開示状況

7. これからの淀川左岸ブロック流域での取り組みについて

2) 大阪府などによる情報提供

- 1 大阪府では、河川のはん濫や浸水に対して、流域関係市と連携し、府民が的確に避難行動を取れるよう情報提供をしていきます。

防災情報

【おおさか防災ネット】

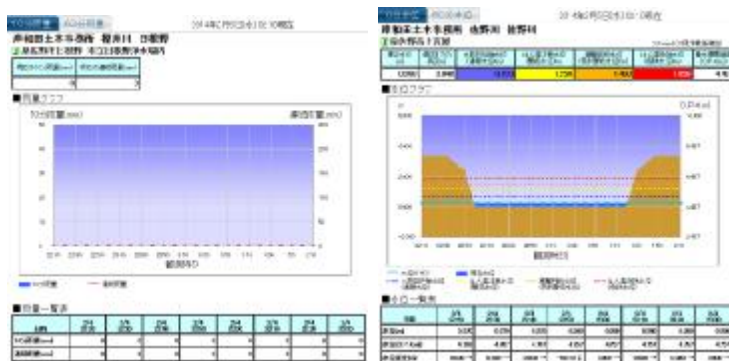
<http://www-cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>



緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

【大阪府都市整備部河川室 河川防災情報】

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html>



淀川左岸ブロック流域の雨量、流域内主要河川の水位状況などを確認できます。



防災情報を携帯電話で入手できます。下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net



川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。
<http://i.river.go.jp/>
直接アクセスしてください。



大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
<http://www-cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>
直接アクセスしてください。

